

史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会  
(第25期・第7回)  
議事要旨

日時：2022年12月23日（金）9：30～12：30

会場：オンライン開催

出席者：福永伸哉、芳賀満、臼杵勲、内山幸子、奥村弘、菊地芳朗、佐藤宏之、  
佐藤義明、瀬谷愛、辻田淳一郎、林部均、松本直子、宮路淳子（以上  
13名）

欠席者：恵谷浩子、大久保徹也、松田陽

書記担当：松本直子

（1）前回議事要旨の確認  
異議無く承認された。

（2）意思表出原案の検討  
委員長より、意思（見解）表出のたたき台案が示され、種々の意見交換を行った。本日の意見交換をうけて、さらに内容の調整・加筆を行い、1月にメールで検討の上、最終的な分科会の原案を仕上げることにした。

（3）第26期会員選考対象者及び連携会員選考対象者の推薦について  
委員長より、推薦にあたって留意いただきたい点を含めて、推薦プロセスについて説明があった。

（4）その他

1. 公開シンポジウムの実施状況について

委員長および松本委員より、12月11日（日）に行われた当分科会主催の公開シンポジウム「文化財保護に未来はあるかー日本の文化財のこれからを考えるー」の開催状況について報告があった。参加者130名。文化財保護をめぐる諸課題や今後の展望について討議され、事後アンケートでは暫定値として回答者の87%から「とても満足」「やや満足」との評価を得た。

2. 学術会議をめぐる近時の動向について

12月8日（木）開催の第186回総会での質疑応答を中心に、近時の動向について情報交換を行った。

以上